



同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会
平成30年9月30日発行 第35号
<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>



「大人の社会見学」 バスツアー



1号車 集合写真



2号車 集合写真

9月12日（水）参加者82名で筑波への「大人の社会見学」バスツアーが催行されました。「JAXA 筑波宇宙センター」と「筑波大学ギャラリー」では、日本の宇宙開発とノーベル賞の礎を学び、日本の技術力の高さに驚きと期待でいっぱいになりました。ランチは「筑波ハム」で名物のステーキ定食をいただき、直売所でお土産をたくさん買って、午後は「アサヒビール茨城工場」へ。爽やかな秋空が広がる中の快適なバス旅行となりました。



筑波宇宙センターと筑波大学ギャラリーを見学



筑波ハムでランチとお買い物

ビール工場では、原料から仕込み、パッケージングまで、ビールができる各工程を見学し、できたての「アサヒスーパードライ」など3杯を試飲しました。工場で飲むビールはまた格別！！「美味しいビールの注ぎ方」の説明もあり、ステキな旅の思い出がたくさん出来ました。



アサヒビール茨城工場を見学



工場見学後はできたてのビールで乾杯！

「同窓会の10年」 第4回 ～同窓会に期待すること～

《江戸川まちづくり学科》

佐谷和江 学科長



10周年おめでとうございます。皆様の様々な取り組みが、大学運営の推進力となっています。今年の江戸川まちづくり学科2年生のオリンピック・パラリンピックでのボランティア活動提案をテーマとした授業に卒業生も参加いただきたいとお願いしたところ、多くの方々に参加いただき、深く、広がりのある議論ができました。今後も授業への参加や社会活動体験の受け入れなどにおいて、ご協力いただければと思っています。

年々大所帯になり、1期生から12期生では大学との距離感が違うことや個人個人の思いも違うことなどで、運営が大変だと思いますが、肩の力を抜いて、末永く活動を続けていただくようお願いいたします。

《国際コミュニティ学科》

ジョージ・W・ギッシュ 学科長



今年の秋に15期生を迎えます。同時に卒業生が増えていきます。そして、同窓会への期待も大きくなります。幸いに、同窓会の皆さまの活躍によって江戸川区がより住みやすい街になりました。特に、在住外国籍の方々を受け入れる体制が様々な場面において前より良くなってきました。これを可能にしたのは同窓会の一人ひとりが江戸川総合人生大学の建学精神の一つである、「地球人の自覚」を持っていることです。自分と他者の違いを互いに大事にすることが「地域デザイン学部」と「人生科学部」両学部の基礎にあります。

これからの入学生と江戸川区の各地域の住民にこの精神をしっかりと伝達することが同窓会の大切な役割です。それによって、江戸川区が日本、否、世界の一番住みやすい「モデル街」になることを期待しています。この10年間で次の100年の土台として、益々発展することを願っています。

《子育てささえあい学科》

笹井宏益 学科長



最近、社会人の「学び直し」の必要性が指摘されている。「学び直し」の意義とは、欧米では「職業的な知識や技術の向上」に重きがおかれるのに対し、日本では「異なった経験を持つ人たちとの交流」が強調される。自分が経験してきた人生とは異なった歩みをしてきた人たちとともに学び交流することで、より豊かな人生の実現につながるというのだ。

「学び直し」は学び直した後が重要。せっかく得られた人間関係の輪や仲間同士の経験の共有を持続することで豊かな人生が実現するからだ。その点で同窓会の役割は大きい。大小様々なグループが自由闊達に活動し、まとまる時にはさっとまとまる。同窓会の活動こそが、「人生の豊かさ」の成否を左右すると言っても過言ではない。

《介護・健康学科》

村田幸子 学科長



同窓会も、10周年ですか。感無量ですね。

大学生活だけでなく、卒業後も同窓生と交流を続け、同じ志しを持った人たちと交歓できる状況は得難い財産だと思います。在校生の励みにもなることでしょう。

時代は、各自治体による地域包括ケアシステムの構築に向けて動き出しています。できるだけ長く、生まれ育った地域、自宅で暮し続けられるような仕組みは、行政と住民の協力で作り上げていくものです。

どんな江戸川区に、自分の老いの身を託したいか。現役の人だけでなく、同窓生も同じ目標に向かって歩み、自らの力を存分に発揮していただけたらと願っています。

第13回 江戸川総合人生大学祭

第13回江戸川総合人生大学祭が7月21日（土）にタワーホール船堀にて開催されました。テーマは「地域とともに～あなたの一步、みんなの一步～」です。

1階展示ホールの会場には、楽しいステージ・体験コーナー・展示コーナーがあり、また特別コーナーとして卒業生の活躍を紹介するコーナーもありました。



北野学長（中央）と各学科長の皆さん



同窓会コーナー（1階展示ホール中央）



「パソコンサポートの会」コーナー



北野学長と森本室長



多田区長のご挨拶



コーラスグループ「フリージア」＋「芙蓉の会」



チームレインボー「南京玉すだれ」



歌声広場・喫茶@ミール

3階産業振興センターの同窓会コーナー「おやすみ処よってこ」では、活動グループ全体を紹介するパネル展示コーナーのほか、「布絵」「切り絵」コーナーもあり、ステージでは日本舞踊・フラダンスが披露され、最後はみんなで「来年も会いましょう！」のかけ声で閉会となりました。



「おやすみ処よってこ」の様子



日本舞踊



フラダンス



「布絵の会」体験コーナー



「切り絵」教室



パネル展示コーナー

文化講演会 「みんなで楽しむ落語」

6月30日（土）篠崎文化プラザ3階講義室で、江戸川総合人生大学同窓会主催の落語講演会が和やかな雰囲気の中で以下の演目で開催されました。

風亭ふ六 「権助魚」
じゃじゃ馬亭がり子 「紙入れ」
笑亭伊之輔 「子別れ」（前半）
三崎家桜の輔 「子別れ」（後半）



会場に詰めかけた参加者の皆さんは、寄席並みの雰囲気の中で時間を忘れ、落語の魅力と笑いの楽しさを味わいました。この会の後に逝去された落語界の大功労者・桂歌丸さんにもあわせて感謝したい講演会でした。



第6回 在校生と人大ボラ連の集い

8月20日（月）篠崎文化プラザにおいて「在校生と人大ボラ連の集い」が開催されました。開始前から列ができ、在校生48名とボランティアグループ関係者で全席が埋まりました。

第1部のボランティアグループ活動紹介は、各1分半で30グループの代表者がリレー式で行いました。第2部の交流タイムでは3つのジャンル「まち・地域づくり」「外国の方を対象」「子ども&熟年者を対象」に分かれ、在校生はそれぞれ関心があるグループに移動して、活発な質疑応答が行われました。



第1部 ボランティアグループ活動紹介



第2部 3つのジャンルに分かれ質疑応答

《編集後記》

第11期による「同窓会だより」は今号で最後となり、次号からは第12期が担当します。今期クラス幹事68名のうち19名が退任されますが、任期中は各種イベントへの参加、「同窓会だより」の発送作業に協力いただき、広報部会一同感謝しております。会員の皆様には今後とも同窓会の広報活動に益々のご協力・ご支援をお願いいたします。ありがとうございました。

《第11期 広報部会》

飯田和江（介7）、榎本清一（介9）、大内貞雄（まち12）、
衣川章嗣（まち9）、長谷川孝子（国8）、山内康（子11）

「同窓会だより」は皆さんの会費で作っています。